

無上尊

月報良覺寺

No 318

親鸞聖人滅後761年2月発行
発行所◇真宗大谷派良覺寺
発行者◇良覺寺住職釋願證

3

March

◇ Contents ◇

2021報恩講法話録（後）／良覺寺の動き
お内仏のお給仕……「火舎香炉（かしゃごろう）」
耳をすませば……『真宗と現代葬儀』



本当の意味で「知る」とは

阿弥陀仏の本願は

煩惱だらけで悪い行いしかでき

ない我々を

浄土に導いてくださると

「知る」のである

親鸞聖人（住職意訳）

平安時代の高僧である源信様が宇治の平等院で法話をされていたとき、一枚の葉が風に乗って源信様の前に落ちた。その葉には歌が書かれており、上の句は破れて読めなかったが、下の句は「極楽へ往く／船をたよりに」と読めた。

源信様は聴衆に、「どなたか、上の句を作ってこの歌を完成させてください」と問い掛けたが反応がない。源信様は自ら「法の道／知る人あらば／渡すべし／極楽へ往く／船をたよりに（仏法の道を知っている人ならば、仏様のはたらきという船にのって極楽へ渡っていくでしょう）」と歌を完成させた。それを聞いた聴衆は「さすが源信様だ」と感心して帰った。

聴衆がいなくなった本堂に一人の老婆が残り、泣きながら源信様に訴えた。「私は仏法の知識はありません。仏法を知っている人だけが救われるのなら、私は救われたいのですか？」。それを聞いた源信様は、素直に自分の心得違いを謝り、上の句を訂正された。「法の道／知るも知らぬも／渡すべし／極楽へ往く／船をたよりに」。それを聞いた老婆は、今度はうれし涙を流し喜んで帰られたという。

仏教の言葉や教義を知っていても、苦悩の人生を生きていく力にはならない。人生の苦悩は自分の外側に因があるのではなく、内にある煩惱悪業にあったと、苦悩のたびに南無阿弥陀仏に導かれ、教えられ続け、自覚し続ける道を、命終わるときまで歩ませていただくのだ。

True Living

～真の生活～

2021年11月20日21日に勤修された「2021年良覺寺報恩講講話録」の後編です。

法話は太宰不二夫師(岐阜県揖斐川町・真教寺住職)でした。

二〇二一年報恩講法話録後編 太宰不二夫師

江戸時代の真宗大谷派講師に香樹院徳龍りゅうという方がおられました。この方がこのようなことを言われています。「〇〇ほど心を迷わすものはない」。この「〇〇」に何が入るか分かりますか？

「金」だと思う人もおられると思います。我々の日常から言えばお金に迷わされていきますね。私もそうです。しかし香樹院が言われたのは金ではありません。

ある寺でこう尋ねたとき、手を上げて「女」と言われた初老の男性がありました。女性ならば「男」ですね。サラリーマン川柳に「プロポーズ、あの日に帰って断りたい」があります。この人と結婚すれば幸せになれると思っただけれど、今は後悔しかないのでですね。しかしこれも正解ではありません。

実は香樹院は「心ほど心を迷わすものはない」と言われるのです。金や異性、また病や状況といった、心の外側のものが心を迷わしていると我々は思っています。しかし香樹院は、信心を頂いてみれば、自覚を頂いてみれば、私の心ほど私を迷わしているものはなかったと言われているのです。

「まよう」という言葉の語源は諸説ありますが、その一つに「真酔うまよう」があります。「酔う」は酒に酔うような状態です。それに「真」が付く。例えば真夜中とは夜中が極まった時です。「真酔う」とは酔うことが極まった状態ですね。泥酔して歩けないのに、「私は大丈夫だ、まだ酔ってない」と言う。

仏教でいう迷うは「真酔う」という字を当てた方が意味がとりやすいように思っています。仏教では迷っている状態を「無明みよ」といいます。無明とは智慧が全くなくて自分が分からない状態です。

以前、法事の後でお斎しよ(食事)をいただいたときお酒を出していただきました。注がれるままに呑み続けて、かなり泥酔しました。酩酊状態で何とか帰宅し直ぐに寝てしまったそうです。そして寝ている間に家の人から「住職は大丈夫でしたか」という心配の電話があったそうです。そのことを後で聞いて「おせっかいな、自分はしっかり帰ったのに」と少し立腹しました。

こう聞いて、どちらが正しいと思いますか？私は酩酊しながら「自分は大丈夫

だ」と思い込んでいる。家の人は「住職は大丈夫でしたか」と心配してくださる。これが仏様と凡夫ぼんぶの関係を表しているように思えます。我々凡夫は迷っている。しかし迷っている者は自分が迷っていることを分かっている。自覚がないのです。それに対して家の人は「大丈夫でしたか」と心配してくださっている。

自分が分からない者を凡夫といいまします。凡夫を心配してくださるはたらきを仏様といいます。仏様は、自分のことを分かっている凡夫、自覚のない凡夫に、「自分に気付きなさい」と心配し教えてください。しかし当の本人は自分分は心配される筋合いはないと思っ

ています。皆様も父母やご縁のあった方々から「仏様の教えをしつかり聞きなさい」と言われたことがあるでしょうか？何故聞きなさいと言われるかというと、私たちは欲得や思い通りにしたいという心で迷っているから、自分の知恵で生きていける、仏の教えを聞かなくても大丈夫だと思っ

ているからです。「仏の教えを聞きなさい」と呼びかけられている理由は我々の側にあるのです。



良覺寺の動き

第一回 役員会開催

一月二十九日（土）、二〇二二年度良覺寺門徒会第一回役員会が開催されました。今年度の会計監査人役員枠は田村透氏（東出町）が選任されました。会議において「野卓・葬儀飾り使用しの葬儀」や「屋根裏小動物侵入」について活発な意見交換がなされました。

仏教講演会に注意

最近、仏教講演会関係のチラシが郵便箱に入っていたり、新聞広告に入っていることがあります。なかには『歎異抄』や『正信偈』に関する講演会もあります。そういった講演会には浄土真宗系の新興宗教団体が名前を伏せて主催しているものがあります。

参加されるかどうかは当然自由です。参加されるのであれば、主催団体がどういった団体なのか十分に考えてからにしてください。

今年度年報恩講の日程

今年の報恩講から初日（土曜日）の日程を従来と変更いたします。従来は初日（土曜日）の午後二時から連夜、午後七時から初夜を勤めていました。この日程ですと初夜の終了時間が午後九時になり帰宅時間が遅くなってしまう。

そこで今年の報恩講から初日（土曜日）の連夜を「午後一時三〇分」から始め三時三〇分に終了、三〇分ほど休憩した後引き続き初夜を「午後四時」から始め午後六時に終了する予定で勤めます。



本堂で家族葬

二〇二一年一月二十九日、良覺寺門徒である田村薫氏が還浄（死去）され、良覺寺門徒会で購入した野卓・葬儀飾りを使い本堂で家族葬が勤まりました。

小動物の侵入

良覺寺本堂屋根裏に小動物が侵入しました。今後、小動物退治に諸々の対策をいたします。



今後の良覺寺の予定

●春季永代経

3月21日（祝）午前10時より

布教使：近藤美恵子師

（真宗大谷派解放運動推進本部）

●秋季永代経

9月23日（祝）午前10時より

●良覺寺報恩講

11月19日（土）連夜：午後1時30分

初夜：午後4時

11月20日（日）晨朝：午前8時

日中：午前10時

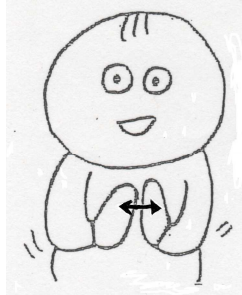
布教使：藤場芳子師

（石川県・常讀寺副住職）

「手あそび歌」

昨年の報恩講で太宰不二夫先生からご紹介いただいた「手あそびうた」を掲載します。

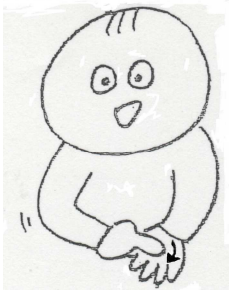
- ① お手々
チュツ
チュツ
チュツ



両手を軽く
三回、合わせ
ます

仏さまに手を合わせましょう。そして仏さまの智慧をいただいて生活しましょう。

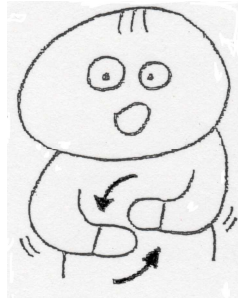
- ② い
字のめ
字のめ
字のめ
バイ



人差し指で手の
ひらに、三回、
円を描きます

もちろん世間の知恵も大切です。文字をしっかりと覚えて、生きていくのに必要な知識を身に付けるようにしましょう。

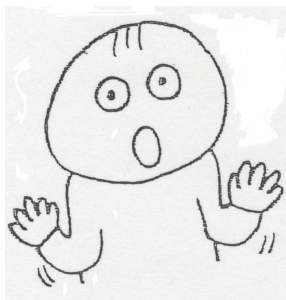
- ③ たんぐり
たんぐり
たんぐり



三回、両腕を
回します

ただし、私たちはその身に付けた知識によって、あらゆるもの（命・健康・財産・世間体など）をたぐり寄せ、「失うものか」と必死にはからい続けますが…

- ④ パァー



両手を
パツと広げて

それらは「ご縁」によって与えられたものだから、いずれみんな「ご縁」が尽きて「パァー」になりますよ。

- ⑤ オツム
てんてん



両手で頭を
三回たたきます

これは大切な仏さまの教えだから、しっかりと頭に入れておいてください。

——法語カレンダールの言葉——

ふみはずしましたが気がつけば
ここも仏の道でございました

——榎本栄一師——



お内仏のお給仕(13)

◆火舎香炉(かしゃこうろ)

焼香をするための仏具



火舎香炉は
焼香をする仏具

角形金香炉



丸形金香炉



浄土真宗の門徒は、御本尊・阿弥陀如来を安置した仏壇を「お内仏(おないぶつ)」と呼びならわしてきました。

「火舎香炉」は焼香をするための仏具です。



火舎香炉を備える位置は上卓(上段の卓/机)の中央です(上図参照)。三本足の一本が手前にくるよ

うに置きます。

焼香は金属製の金香炉で行い、陶器の土香炉では行いません。土香炉は線香をたくための仏具です。火舎香炉がない場合、角形や丸形の金香炉(金属製の香炉)を用いることもできますが、基本的には火舎香炉を備えます。

焼香は平生は行わず、祥月命日や年忌法要などのときに行います。

お内仏の火舎香炉は小さく、お内仏上部の奥に置くため、焼香が難しい場合が多いと思われま。その場合、焼香用香炉(下図)を使ってもかまいません。



『真宗と現代葬儀』

(著者: 蒲池勢至 / 出版社: 法蔵館)



ここ二十年で葬儀の形式は様変わりしました。そして近年のコロナウイルス感染拡大は葬儀の変化に拍車をかけているように思います。

現在は葬儀会館で家族葬を勤めることが主流です。その勤め方も数年前と比較して変化があります。少し前まで葬式は大手葬儀会社に任せるものだという認識がありました。しかし家族葬であると経費面が節約できるはずなのに、大手であると曖昧な請求をされます。

それに対抗して、最近では多くの新しい葬儀会社が明朗会計を掲げ、テレビCMや新聞広告等を出しています。

現在の葬式を考えると、「葬儀費用」も大事な視点です。しかしそれ以上に大事な視点があります。それは宗教性と伝統です。

現在の葬儀は、大手であっても新しい葬儀会社であっても、葬儀を商品と考えています。消費者のニーズに合わせて葬儀の形式を変化させていくわけです。

そうではなくて、仏の教えや、浄土真宗の教え、また先祖が大事にしてきた伝統的なたちから現在の葬儀の形式を見直す必要があると思います。蒲池勢至氏著『真宗と現代葬儀』は、少し専門的ですが、そういった視点を与えてくださる良著です。

耳をすませば

◆2月行事予定◆

覚の会2月例会

日時…2月21日(月)
午後1:30より



◆3月行事予定◆

永代経法要

日時…3月21日(祝)
午前10:00より
(今年は午前のみ)

法話…近藤美恵子師
(真宗大谷派解放運動推進本部)

覚の会3月例会

日時…3月18日(金)
午後1:30より

◆4月行事予定◆

覚の会…4月19日(火)
午後1:30分よ

葬儀のとき「友引」を 気にしない!



葬儀の日時を決めるとき「友引」を考慮することがあるようです。「友引」に「死者が友を引く」という意味はありません、亡くなった方は遺族知友に不幸をもたらす悪霊ではありません。葬儀の日時を決めるとき「友引」を気にする必要はないのです。

【良覺寺山門掲示板①】

落ちぶれて／袖に涙のかかると
き／人の心の奥ぞ知らるる／朝
日を拝む人あれど／夕日を拝む
人はなし
串木野さのき

◇清掃奉仕表◇

- 2月20日(日) 午前8時 西出町
- 3月13日(日) 午前8時 北浦町
- 4月17日(日) 午前8時 浜ノ町
- 5月15日(日) 午前8時 二丁目町・三丁目町

【良覺寺山門掲示板②】

仏教は、
都合よく生きられたら幸せだど
いう夢から覚める教えです
片山寛隆師

◇良覺寺関係事業◇

- ※近江第2組正信偈講座
日時…2月14日(月)19時30分
会場…願信寺(草津市馬場町)
講師…高木淳善師
参加対象地区…B地区(良覺寺該当外)
- ※真宗のつどい
中止
- ※草津市仏教会講演会
未定

『無上尊』 3月号(No.318)
発行日 2022年2月10日発行
編集・発行 真宗大谷派・良覺寺
滋賀県草津市矢橋町1137

発行者 住職・釋願證(谷大輔)

▼表紙コラムは
『恵心僧都絵詞』から引用し
ました▼コロナ
ウイルス感染拡大が収束してい
れば、十一月に勤める報恩講に
はお参りの皆さんとお齋(食事)
をいただけるのではないかと思
っています▼従来報恩講のお齋
は炊き込み御飯でしたが、今回
から「精進カレー」を出しては
どうかと思います▼炊き込み御
飯より簡単にでき、副菜の必要
がなく、少し物珍しい料理です
▼十一月の報恩講にはみんな
でお齋が食べられるといいですね。



携帯サイト